団体名:かさでら図書館運営委員会!

## 古本市

## ■活動の内容

笠寺観音手前にある「かさでら図書館」は今年2月にオープンした、まちの居場所茶屋「かさでらのまち箱」の一角にある私設図書館。まちづくりびと講座受講生でもある団体メンバーが立ち上げ運営しています。今回は笠寺観音九万九千日の市にあわせ、図書館で「古本市」開催の様子を視察しました。

- □日時 令和5年8月9日(水)16時~21時
- □場所 かさでら図書館(南区・笠寺学区)
- □内容 古本市

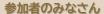






「気軽に本に触れられる場所、人と人・地域が つながる場所、心安らぐ居場所を作る。」そん な団体の思いがこもった、たくさんの方々で賑 わうイベントでした。本棚オーナーも出店して いる古本市で、地域のコミュニティの場として はもちろん、本を中心に人々の活用の場として 図書館が存在している様を感じました。







本の読み聞かせ

笠寺観音九万九千日の市にあわせ、4年ぶりに開催された「笠寺盆フェス」。 笠寺駅から笠寺観音周辺一帯がお祭りモード一色の中、存在感のあるまちの居 場所として「かさでらのまち箱」があります。「かさでらのまち箱」とは、セレクトショップ、和菓子店、チャレンジスペース、そして「かさでら図書館」 から成る複合スペース。本が読める、借りられる、自身の蔵書をみんなに

> 紹介できる場所として、地域の皆さんを繋いでいます。 本を通じての出会いの数々が今後も大変楽しみです。